

橙 和

— TOWA —

Vol.2 2019年度上期号

新潟食料農業大学 大学だより



(4月6日(土)2019年度 入学式にて)

- 1 後援会会長あいさつ
- 2 学長あいさつ
- 3 2019年度 上期活動報告
- 4 2019年度 下期活動予定
- 5 教員紹介
- 6 部活動紹介
- 7 2019年度後援会総会報告



橙和…一期生による造語。本学のイメージカラーであるオレンジと、その実が春先から夏場にかけては青く、秋には見事に熟す「橙」を自分たちの成長になぞらえ、そしてその「和」が永遠(とわ)に続くように、との願いを込めています。

1 後援会会長あいさつ



新潟食料農業大学 後援会会長

長谷川 浩司

日頃より、後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新潟食料農業大学後援会は今年1月に発足し、今年度、新たな役員を迎え、右記の表に記載の組織で運営しています。4月開催の後援会総会で承認いただきました事業計画に基づき、円滑な活動を目指して参ります。何卒宜しくお願いいたします。

2019年度役員

役職名	会長	副会長	副会長	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事
氏名	長谷川浩司	遠山 勇一	長谷川広明	太田 晴美	澁谷 高幸	樋浦 幸彦	若杉 隆義	鈴木 敬子	高橋 恭子		
学年	2年	2年	2年	2年	1年	1年	1年	2年	1年		

さて、小中学校等とは異なり、私たち保護者が大学と関わる機会は少なくなり、入学式後は卒業式という保護者もおられるかもしれません。また、4月以来、初めて一人暮らしを経験している新入生と同様、初めてご息子・ご息女が親元から離れる経験をされている保護者も多く、現在もご息子・ご息女と同じように期待と不安を抱えている方もおられるかもしれません。本後援会としても4年間の大学生活を通して、立派な社会人として巣立られることを願うとともに、本後援会がその一助になれるよう最大限の支援をして参りたいと思います。

今年度から2年生はそれぞれ専門のコースに配属となり、より専門的な内容を学び、また新入生は入学当初の意欲を継続させながら学業やその他の様々な活動に取り組んでおります。「マーケットイン」「フードチェーン」「実学」の重視という理念、建学の精神である「自由」「多様」「創造」を大切にしながら多様な学びを続けております。このように学生たちが安心して学業に打ち込めるのも、ひとえに保護者のみなさまのご支援あつてのことです。あらためて感謝申し上げます。

11月3日(日)には、第2回橙和祭(大学祭)の開催が予定されています。ぜひ多くの保護者のみなさまにもご来場いただき、学生たちのがんばりや活躍する姿をご覧いただきたいと思っております。

最後になりますが、会員のみなさまのご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2 学長あいさつ



新潟食料農業大学 学長

渡辺 好明

開学以来1年半が経過しましたが、学生たちは、専門コースに進んだ2年生も、2019年度の新入生も、それぞれ意欲をもって、勉学はもとより、クラブ活動や地域活動に取り組んでおり、本学が掲げた「マーケットイン」「フードチェーン」「実学」の重視という理念の実現、「自由」「多様」「創造」の精神の発揮に向かって進みつつあります。学長としては、大きな手応えも感じています。学生たちの日ごろの活躍には目を見張るものがあり、さらなる発展可能性も十分です。保護者の皆様からの心強いサポートには心から感謝申し上げます。

5月17日に田植えをした稲は、順調に収穫期を迎え、9月26日には、教職員・学生たち総出での稲刈りになり、11月3日には、第2回「橙和祭」(大学祭)が開催されますのでぜひとも多くの方々にお越しいただいて、大学の状況を実感され、また、地域の住民の方々や将来の新潟食料農業大学生との交流などに楽しいひと時を過ごされますようお願いいたします。

大学での教育の内容も、インターンシップⅠ、基礎ゼミⅡが始まり、将来の自らの社会人としての進路を感じることができる大事な時期に差し掛かってきました。「自らの道は、自ら学んで選択する判断力を養う」「地域と暮らしに役立たないようでは学問とはいえない」「そもそも天下に道はない。人が歩いて道ができる」と繰り返し、伝えてきたことが、実現の方向に向かっていくことを大変うれしく思っています。

なお、大学側では、教育、研究、普及面における環境の整備を着実に実施するとともに、大学の将来発展計画を策定することとし、大学院、新学科、「知の拠点・リサーチセンター」設置などをテーマとして検討に着手したことを、併せて報告いたします。保護者、関係者の皆様におかれましては、これまで以上のご支援を賜りますよう心からお願いいたします。

3 2019年度 上期活動報告

- 4月6日(土) ・第2回新潟食料農業大学入学式(会場:胎内市産業文化会館)
新入生149名ほか、保護者や教職員あわせて約300名の出席【写真①】
- 4月9日(火) ・前期授業開始
- 5月11日(土)~12日(日) ・G20新潟農業大臣会合開催
セミナー「イノベーションと農業~異業種連携による農業イノベーションの促進~」本学より11名参加(学生5名、教職員6名)
また学生ボランティア4名は両日参加
- 5月17日(金) ・手植えによる田植え実習を実施【写真②】
参加者/学生、学長をはじめ教員、事務局職員
- 6月3日(月)~9日(日) ・第1回2年次選択コース希望調査実施



写真①



写真②



- 6月5日(水) ・味噌づくりワークショップ(学生企画)【写真③】
参加者/学生21名、教員3名
- 6月21日(金) ・校友会主催 球技大会(バレーボール)開催(会場:胎内キャンパス)【写真④】
参加者/学生40名、教職員10名
- 6月23日(日) ・基礎ゼミ I による「地域を元気にするフィールドワーク」実習
胎内市の露天市である三八市に1年生11グループが出店【写真⑤】
- 7月3日(水) ・第1回心肺蘇生法講習実施(会場:胎内キャンパス)【写真⑥】
- 7月5日(金) ・1年生対象 コース配属説明会実施
- 7月10日(水) ・三八市基礎ゼミ発表会【写真⑦】
- 7月22日(月) ・第2回心肺蘇生法講習実施(会場:新潟キャンパス)
- 7月29日(月) ・国際交流セミナー開催(会場:胎内キャンパス)【写真⑧】
来訪者/シルバーナ・ニコラ氏
(イタリア・トリノ大学農林食料学部教授)
ラファエル・ムチャンガ氏
(モザンビーク・ザンレツ大学講師北海道大学大学院在籍中)
- 参加者/学生11名、民間企業2名、本学教職員7名
- 7月31日(水) ・新発田市と本学との包括連携協定調印式【写真⑨】
- 8月1日(木)～
7日(水) ・前期定期試験
- 8月29日(木) ・創立記念日
- 9月9日(月)～
20日(金) ・夏季集中講義期間
- 9月24日(火) ・後期授業開始
- 9月26日(木) ・農学基礎実習「稲刈り実習」
- 9月26日(木)～
10月2日(水) ・第2回2年次選択コース希望調査実施



4 2019年度 下期活動予定

- 10月24日(木) ・1年生対象 コース説明会実施
- 11月3日(日) ・第2回「橙和祭」(大学祭)
・後援会役員会
- 11月7日(木) ・防災・避難訓練(胎内キャンパス)
- 11月15日(金) ・交通安全指導講習会(胎内キャンパス)
- 11月18日(月) ・防災・避難訓練(新潟キャンパス)
- 12月9日(月)～
15日(日) ・第3回2年次選択コース希望調査期間
- 12月24日(火) ・年内授業最終日
- 1月6日(月) ・後期授業再開
- 1月28日(火)～
2月3日(月) ・後期定期試験
- 2月4日(火)～
10日(月) ・第4回2年次選択コース希望調査期間
- 3月12日(木) ・2年次コース分属発表(予定)

5 教員紹介



食料産業学部 食料産業学科
准教授 早川 喜郎

昨年3月まで民間の食品企業で39年間勤務し、研究開発、商品開発、生産技術、設備設計、品質管理、品質保証、お客様相談などの多くの部門・業務を経験してきました。4月からは本学のフードコースにて主に食品加工、食品（商品）開発等の授業を担当しています。本学には、将来食品企業で商品開発を行いたいという学生も多く、私が企業で経験してきた知識・ノウハウをでき得る限り伝え、社会で活躍できる人材に育つよう貢献したいと考えています。また、研究活動においては、地域の方々と連携し、新潟の素晴らしい農産物を有効に活用した価値ある加工品・商品の開発につなげていきたいと考えています。



食料産業学部 食料産業学科
講師 趙 鉄軍

近年、農業におけるICT（情報通信技術）の利用は、生産の省力化、高収益化、経営・業務運営の効率化、高度化などのメリットを有するため、次世代農業の促進技術の一つとして注目を浴びています。私は農業の生産性向上を目指し ICT農業をはじめ様々な研究を行っています。ICTを利用して、画像処理など非破壊診断技術による植物生育状況の把握、環境制御技術による最適な生育環境の創出、局所加温などの省エネルギー・安定生産技術の開発など、野菜栽培の革新的技術開発に取り組んでいます。ICT農業技術の活用によって、高収量・高品質・低炭素型農業の実現や日本農業の国際競争力の強化を目指しています。



6 部活動紹介

○自転車競技部



我々が所属する自転車競技部は本学の指定強化部になっておりインカレや全日本ロード、全日本トラック、全国規模の大会で入賞、日本一を目指して活動しています。初心者から経験者まで幅広く活動しています！

○卓球部



卓球部は現在週2回練習しています。部自体も出来たばかりで練習時間も短いですが、良い結果を出せるように日々練習しています。

News!

2020年度より、指定強化部として「ラグビー部（男）」「柔道部（男・女）」を創部！

7 2019年度後援会総会報告

後援会総会が4月6日、入学式後、胎内市産業文化会館多目的ホールにおいて開催されました。本学の2018年度活動結果や2019年度活動についての報告がなされ、2019年度収支予算や役員について審議いただき、右記のとおり承認されました。（役員一覧は2ページに掲載）

2019年度 本学の主な活動について

1. 教学体制について
 - 1 学部1学科3コース体制 【学部学科】食料産業学部 食料産業学科
[2年次コース分属] アグリコース/フードコース/ビジネスコース
2. 教育・研究計画について
 - (1) 教育の質向上に向けた取り組み
 - (2) 社会連携活動の推進
 - (3) 公的研究費等補助金事業の推進
 - (4) 国際交流活動の推進
3. 学生支援について
 - (1) 学習・キャリア支援
 - (2) 学生生活支援
4. 教育環境等の整備計画について
 - (1) 設備等整備計画
 - (2) 施設保全・更新計画
 - (3) 大学構内の交通安全、防災・防犯等対策
5. 保護者等への情報提供について
 - (1) 新潟食料農業大学 Campus Guide
 - (2) 各種教育情報

【2019年度 収支予算】

I. 収入の部	
科目	予算額
会費収入	7,320,000
2019年度後援会費	7,320,000
前年度繰越金	0
収入の部合計 (A)	7,320,000
II. 支出の部	
科目	予算額
事業費	6,550,000
1 学生会補助(大学祭、クラブ活動補助)	1,300,000
2 学生厚生施設整備補助	400,000
3 学生バス運行補助	1,500,000
4 学生食堂運営補助	1,000,000
5 就職活動支援	500,000
6 学外実習支援	550,000
7 国際交流補助(海外研修補助等)	1,000,000
8 後援会誌	100,000
9 図書館整備補助	200,000
管理経費	160,000
1 資料印刷費	50,000
2 会議費	20,000
3 通信費、振込手数料	90,000
予備費	300,000
支出の部合計 (B)	7,010,000
III. 収支差額の部	
収入の部合計 (A) ※再掲	7,320,000
支出の部合計 (B) ※再掲	7,010,000
次年度繰越金 (A) - (B)	310,000

